

～青年が学び、組織拡大に活躍するきっかけに～

国公青年フォーラム 春の国公青年セミナーを開催！！

国公青年フォーラムは2月9日に東京都内で、合計26名参加のもと、「春の国公青年セミナー～桜舞う春闘と仲間づくりへ～」を開催しました。2018年10月27日に国公青年フォーラムが立ち上がって以降、初めてのイベントであるとともに、春闘期の新たな企画として開催されました。



冒頭、国公青年フォーラム森運営委員長から「国公青年フォーラムが立ち上がり、青年のもっと学びたい、もっと交流したいという思いを実現すべく今後も活動していきたい。春闘が始まったが、その中で私たちはどのように活動していくのか、春闘期の4月に職場に新規採用者が入ってくる中でどのように仲間を増やしていくか、みんなで議論を共有し、とりくみを進める第一歩にしたい」と挨拶し、青年の春闘への参加と組織拡大の担い手になることを呼びかけました。



本セミナーは講義とグループワークの2本立てで構成され、講義では国公労連の九後書記長から、「なぜ国公労連が必要なのか」と題した講義が行われました。講義の中では、国公労連の運動の基本である「二つの責任一つの任務」、労働組合の必要性や要求実現へのとりくみ、2019春闘で国公労連が提起している「3つのチェンジ」(①世論を変える ②政治を変える ③労使関係で変える)への挑戦といった、基礎的な話から春闘期のとりくみにつなげてわかりやすい講義がされました。

続いてのグループワークでは、5班に分かれて2つのテーマ（①いま労働組合に求められているものは・組織拡大のために新規採用者を仲間に ②新採勧誘レク企画&チラシを作ってみよう）で議論や企画、チラシ作りにとりくみました。



テーマ①では、労働組合に加入するきっかけの分析や青年が参加しやすい組合活動について活発に討議され、青年それぞれが持つ思いが語られました。テーマ②では、いかに新規採用者を含めて参加しやすくするか考えた企画や、労働組合の存在意義を感じられるブラック企業体験イベントといった一味違った企画も発表されました。全体として、単組を超えて楽しく充実した議論が行われました。

その後、場所を移して懇親会を実施し、青年が求める交流の場も設けました。懇親会や2次会でそれぞれ自分の職場や組合について語る青年の姿がとても印象的でした。

今回行った春の国公青年セミナーでは、在京近県以外の参加者も4人参加し、国公青年フォーラムの活動を全国に広げていく第一歩になったともいえます。今後も全国の青年と2019全国青年交流集会等のとりくみを行って、活動の活性化につなげていきます。



以上